

〔特集〕就労移行支援と就労定着支援。

そよかぜだより

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第139号

発行2019.10.20

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466



〔特集〕

福祉作業所ひばり園

就労移行支援と就労定着支援

一般企業への就職に向けてがんばっている利用者がいます！

地方公共団体、民間企業等における障害者雇用率、就職件数は毎年右肩上がりが増え続けています。

ひばり園でも平成21年12月から就労移行支援事業をスタートし、一般企業への就職の支援を行っています。

当事業所では主に知的障害の方を対象としていますが、近年は発達障害や精神障害の方の利用も増えています。

下請け作業の他にも、就職に求められる様々な訓練や体験を通して、一人ひとりに合った就職先を見つけています。

そして、安心して長く働き続けられるよう、定着支援として就職した後も職場訪問などを行っています。

就職実績

平成21年度～令和元年度現在 就職者数 32人

障害種別

知的障害 28人 身体障害 1人

精神障害 1人 発達障害 2人

主な就職先・職種

清掃業務（老人ホーム、社員寮、社内）

物流業務（ピッキング、商品管理、個装、容器洗浄）

食品関係（トレー容器洗浄、盛り付け、補充）

事務（データ入力、印刷）

就労移行支援事業について

「就職したい」、「もっと働きたい」という気持ちを持っている方のために、2年間の利用期限の中で必要なトレーニングを行い、就職活動を支援します。

様々な作業や訓練、活動を通して得意なことを増やし、苦手なことへの対処方法を見つけていきます。一人

ひとりの状況に合わせた週間目標を設定することで、今やるべきことを明確にし、スモールステップで出来ることを確認していきます。やりがいや達成感を自信にして就職に向けて力を付けていきます。そして、その方に合った業務内容、職場環境を見極め、就職活動を支援します。

また、就職後6ヶ月間の定着支援として職場訪問なども行います。



作業

箱組み立て作業などの軽作業では資材の搬入から組み立て、梱包、納品、伝票記入、PC入力まで、一貫して利用者さんの役割とすることで仕事の流れを知ること、それぞれ任された作業を責任を持って行うことを身に付けます。



訓練

ワークサンプルを活用したピッキングや数値チェック、ボールペン50本の分解・組み立てをする反復訓練などを行います。集中力を付ける、作業スピードアップ、作業環境の工夫などが身に付きます。集中して頑張ったことで自信につながります。適切な質問や確認の仕方も学びます。



清掃

ぞうきん、自在ぼうき、ちりとりなどの基本的な使い方を学びます。習得したら玄関や階段、トイレなどの清掃を一人で担当します。周囲に気を配り安全に行うこと、手を抜かずに責任を持って行うこと等の力が必要になります。周囲の人に「ありがとう」と言われる機会の多い、やりがいのある仕事です。

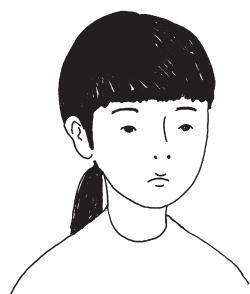


SST(ソーシャルスキルトレーニング)

あいさつ・返事の仕方、話の聴き方、感謝の伝え方などのコミュニケーションのとり方や、お金についての学習や自己理解についてのワークなどテーマを絞って行います。ロールプレイ等を入れて楽しく学習します。

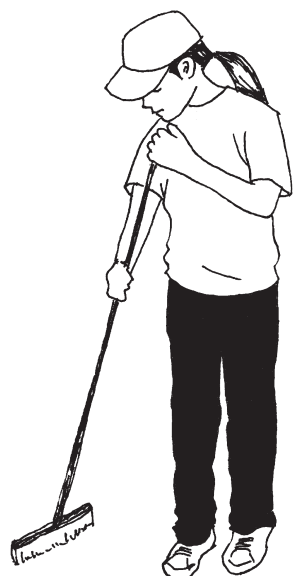
事例紹介

Aさん(知的障害4度 特別支援学校を卒業後、ひばり園の就労移行支援に通所開始)



「適切な挨拶や言葉遣い、態度を知り、意識を高め身に付ける。
自信を持って行動できるようにし、将来に希望を持てるようにする」
という目標を持って、ひばり園への通所を開始。
まずは作業の手順や流れを覚えることから始める。
ひとつずつ繰り返し手本を見せながら手順を覚え、
一通り流れをつかむと気を利かせた行動も。

3ヶ月経過



反復訓練開始

手先の器用さを活かして、グングンスピードアップ。
自信を付けて、日々の作業でも力を発揮し、
新しいことにもチャレンジ!

ワークサンプルでピッキング訓練を開始

分からないことについて質問することができない。
どのように言えばいいのか、質問の仕方を練習し習得。

アセスメント

作業や訓練などの様子を細かく分析し、得意不得意を見極め、継続して観察することで習得する速度やポイントを知ることができます。また、性格やコミュニケーションのとり方などから、働きやすい職場環境を知ることができます。アセスメントはその方に合った職務内容や職場環境をマッチングさせるだけでなく、企業へ利用者をプレゼンするためにもとても重要です!

6ヶ月経過

清掃訓練

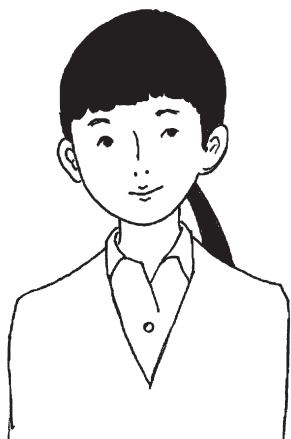
初めてで不安だけど、きっとできるようになる! と、自信を持って新しいことにチャレンジ。
任された場所をきれいにすることはもちろん、周囲の人にも気を配ることができ高評価!

就活セミナー

スーツを着て全4回のセミナーに参加。

社会人としての身だしなみやマナー、面接の受け方などを学習し、就職へ向けてモチベーションが上がったところで就職活動へ。

9ヶ月経過



就職活動

個性とやる気の伝わる履歴書を作成、面接練習もばっちり!

ハローワークの合同面接会に参加。

気配りができる優しい性格、責任感があるので安心して仕事を任せられる。

「ありがとう」と言ってもらえることでがんばれる!

実習 → 面接を経て見事採用(老人ホームでの清掃業務)★

1年経過

事例紹介

Bさん(発達障害 会社都合により中途退職～就労支援センターからの紹介で通所開始)



仕事に集中できない、責任感がない、モチベーションが低いなどの課題があった。

作業手順はすぐに覚えられる。

しかし手元の作業に集中できず、なかなかスピードが上がらない。

3ヶ月経過

反復訓練で集中力アップ

そしてどんどんスピードが早くなっていくことが楽しくなる。

ワークサンプルでピッキング訓練を開始

ミスが多発。確認の大切さを知る。しかしミスが無くならず落ち込む。

3ヶ月経過



企業見学

一般企業で働いている先輩の姿を見学。その作業スピードと正確さに驚く。

本人曰く「仕事って、こういうことなんだと初めて分かった」

9ヶ月経過

毎日の作業で～

作業の流れを把握し、先を考えながら

作業を進めることができるようになる(責任感が芽生える)。

集中できる時間が長くなる。

就職して責任感を持って働くイメージが持てるように

なったところで就職活動を開始。

1年経過

マッチング

アセスメントした内容をもとに、その方に合った就職先を見つけます。見学や実習を通して企業アセスメントを行います。就職して働いている姿をイメージし、その方にとって安心して力を発揮できる職場かどうかを見極めます。マッチングを見誤ると利用者に辛い思いをさせてしまい、企業に不信感を与えてしまうことになります。両者の立場に立って、望ましい雇用、就労になるよう努めます。

就職活動

ハローワークで相談。複雑過ぎず身体を動かす作業。人との関わりは最小限。

紹介してもらった会社を見学して、応募決定。

丁寧な字を意識して履歴書作成。何度も面接練習。

実習 → 面接を経て見事採用(容器洗浄業務)★

1年6ヶ月経過



就労定着支援事業について

障害者総合支援法に基づく福祉サービスとして平成30年10月より事業を開始しました。

ひばり園就労移行支援事業を利用し一般就労された方を対象に、就労に伴う生活面の課題の把握、解決に向け関係機関との連絡調整を行います。

就職して7ヶ月目から3年6ヶ月までの期間、就職まで

の支援をしたひばり園の職員が職場にしっかりと馴染めるようサポートしています。

就労移行支援で培ってきたことをそれぞれの職場で発揮され、頑張っている様子を見ることや、職場の方々から、「(ご本人がいてくれて)とても助かっている」、「辞められたら困る」など会社の一員としてなくてはならない存在になっていることが感じられたときには支援者として自分の事のようにうれしく思い、やりがいを感じます。

事例紹介 Mさん 株式会社松屋フーズ 松屋羽村店



仕事内容

飲食店での食器洗浄、調理補助

環境

大手牛丼チェーン店で、近隣店舗で障害者雇用実績

のある会社です。店舗としては初めての障害者雇用。ご本人と2名の従業員の計3名で日中の時間帯を任されており、食器洗浄を主軸に一緒に働く方のサポート業務を行なっています。

本人のがんばっていること

忙しい時間帯は「大変だな」と感じるけど、仕事は楽しいと思っています。特にサラダの盛り付けが楽しい!

定着支援のポイント

「色々なお仕事に挑戦したい!」と感じているMさん。自分一人で出来る仕事か、会社の方が本人に求める仕事かという視点で業務内容を整理しスケジュールを見直すことで、一日の流れを掴めた様子です。自信がつき、大きな声で「いらっしゃいませ」の声かけも出来るようになりました。

事例紹介 Iさん 医療法人社団佑樹会 介護老人保健施設なごみの里



仕事内容

介護老人保健施設の施設内・外清掃

環境

施設で初めての障害者雇用。ご本人一人の力で清掃

業務を行なっています。主に階段や下駄箱など職員の共有スペースの清掃が担当です。

本人のがんばっていること

自分で考えながら一日の仕事を決めるので大変だけど、やりがいがあります。働きやすく恵まれた環境なので、困ったことも相談しやすいです。

定着支援のポイント

夏は暑く冬は寒い、体力の必要な職場環境のため、体調管理の声かけをしており今年の夏も乗り越えることが出来ました。頑張り屋な性格なので、大変なことも一生懸命こなします。職場訪問と面談を重ね、困りごとと一緒に考えています。

福祉作業所ひばり園

所長就任から一年半が経ち

根岸 徹=文
福祉作業所ひばり園所長

私がひばり園に入職したのは14年前のことです。当時は自動車部品（ベアリング）の組み立て作業の受注量が右肩上がりで、作業管理と組み立てられたベアリングの検品に追われていました。利用者支援というよりはベアリングの検品に追われる忙しい毎日でした。ひばり園で働く利用者が毎日コツコツとベアリングを作り出す姿は間違いなく社会に貢献しており、利用者の力を実感しました。

そして仕事に対して熱心に取り組んでいる障害者がいることをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思うようになりました。

その後、平成21年12月には新施設が完成しました。そこで私は就労移行支援事業を担当させてもらい、一般企業への就職の支援を行うことになりました。この事業は私がひばり園に入職して感じたこと、思い描いたことが実現できる機会と思い、一般就労を希望する利用者の支援に尽力してきました。

そして昨年4月から、福祉作業所ひばり園（就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援）の所長（管理者）に就任しました。出張所であるリサイクルショップくれよんを含め、登録利用者約80名、職員約20名という大きな事業所を任されたことへの責任の重さを感じています。

ひばり園は作業所（就労支援施設）として仕事の面から利用者支援を行います。まずは利用者にとって安心して仕事のできる場所であり、やりがいを感じ、誇りを持って誰もが活躍できる場でありたいと考えています。職員にとっても同じように、ひばり園で働くことにやりがいと誇りを持って活躍できる場でありたいと考えています。

所長となってからも、就労移行支援で直接支援をしています。支援の現場にすることで職員とのコミュニケーションが取りやすく、状況の把握がしやすい位置にいます。小規模作業所だったころに比べると、利用者の数は増え、支援方法も多様化しています。作業の量も種類も増えています。そんな中で少しでも職員の業務負担を軽減し、より良い支援に活かしていける新たな仕組みを作る必要があると感じました。

支援をする職員も立場や役割は様々です。効率的な業務分担、それぞれの立場に応じた役割の明確化、一人ひとりに合った目標設定と課題解決、そして適正な評価。これらが形だけの仕組みになってしまうと今までのひばり園の良いところが薄れ、窮屈な職場になってしまいそうです。しっかりと方向性を示し共有した上で、十分なコミュニケーションを取りながら、成果は一部の人だけではなく、関わるすべての人がチームとして得たものであると伝えていきたいです。職員のモチベーションが上がることで学びの機会が増え、支援力が上がり、良い利用者支援に繋がると思います。

ひばり園は職員にとっても利用者にとっても、とても良い職場です。理想的なことを書いてきましたが、それも実現できそうだとおっしゃってください。おそらくあと一歩のところまで来ているのではないのでしょうか。

日々様々な課題に対してみんなが前向きに話し合い、お互いに労をねぎらいながら支援や業務にあたる職員の姿や、日頃から一生懸命に作業を行う利用者の姿を見ているからだと思います。

ひばり園を作り、これまでにたくさんの方々の関わりによって築き上げてくださったたくさんの想いを引き継いだ者の一人として、みんなが「誇れるひばり園」のためにこれからも尽力していきたいと思います。引き続き、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



根岸 徹 現在の福祉作業所ひばり園が、まだ小規模作業所だった平成17年に支援員として入職。平成21年、制度移行に伴い新規事業として就労移行支援事業の立ち上げ、主任支援員として事業運営、利用者支援を行う傍ら、相談支援専門員も兼務。その後、平成30年4月、福祉作業所ひばり園の管理者に就任。ひばり園内の各事業（就労移行支援、就労定着支援、就労継続支援B型）の事業運営、管理業務を担う。趣味は和太鼓。

ポケベルが鳴らなくて

「1052167」といった数字の羅列をみて、どんなメッセージなのか分かりますか。ご存じの方もいるかと思いますが、ポケベルで「どこにいるの?」というメッセージになるそうです。数字などを使って気持ちを伝える知恵に感心するばかりです。

日本でポケベルが登場したのは1968年で、ピークに当たる1995年度末に加算契約者が1,061万人(総務省調べ)もい

ました。社会で一世を風靡したポケベルサービスでしたが携帯電話等の普及に押されて今年の9月にサービスが終了となりました。ポケベルのサービス終了に伴いニュースでもポケベル葬が取り上げられました。

現在はインターネットが普及して、どんな情報も気軽に入手することができるようになりました。時代とともに便利な世の

コラム「福祉の時をつかむ」

中になってきていますが、今のスマートフォンを使いこなすのは以前に比べて難しくなっていると感じます。機能の進化は目を見張るばかりですが、使う人間が追い付かなくなっているのではないかと心配されます。高齢者や障害者等にとって、わかりやすい操作と災害時に有益な情報伝達の機器として進化していくことを期待します。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

今年の日帰り旅行は群馬へ工場見学に行ってきました。事前に班ごとに集まって自己紹介をし、工場の内容やお土産の確認などを行いました。当日は快晴! ラスクの工場で作られたラスクを試食し、昼食はイタリアンのビュッフェ、最後はこんにゃくパークでこんにゃくの試食という大満足の日でした。1年に一度のみんなで出かける楽しいひと時を過ごし、また明日からの仕事を頑張りたいと思います。

リサイクルショップくれよん

秋もようやく深まってきましたね。くれよん

にもスコールのような豪雨が襲来し、水位が上がってきた時には、慌てて水を掻きだしました。日頃の備えも大切ですが、自然の力にはかなわないですね。さて、これからハロウィン、クリスマスとお楽しみ目白押しのくれよん。食器半額セールを開催予定です! 落ち葉降り注ぐくれよんへ是非お立ち寄りください! 併せて、ご提供品もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。

福祉作業所スマイル工房

秋の日帰りバス旅行でヤクルト富士裾野工場見学と沼津港に行ってきました。バ



スの中での○×ゲームは楽しく、とても盛り上がりました。沼津港での昼食は皆で美味しくいただきました。

10月からパンの価格を改定させていただいています。皆様にお手軽な価格でご提供出来るよう努めてまいりましたが、原材料の高騰等により、今までの価格を維持することが困難になりました。誠に恐縮ですが、一部の商品の値上げをさせていただきます。今後も皆様によりよい商品をご提供できるよう努めてまいります。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間:月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

今年の夏、北アルプスの裏銀座という縦走路を四日かけて歩きました。そのためにトレーニングをし、地図や天気を読み、衣食住の装備を整え準備をしました。その甲斐あって好天の中、美しい景色を楽しみながら無事に計画通り歩くことができました。遭難は「計画や準備の段階で遭難している」と、よく耳にします。それくらい計画や準備が大事なのだと、帰宅して荷物を片付けながら実感しました。仕事を進める上でもきつと同じことなのかなあと同時に思いました。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512